

10月クラスだより

ますます秋の深まりが感じられる今日この頃、ひなた保育園の子どもたちは、気持ち良い秋晴れのもと、虫探しをしたり、木の実集めをしたりと園外保育を楽しんでいます。この季節ならではの自然に思いきり触れ、今しかできない活動を楽しんでいきたいです。

保育目標

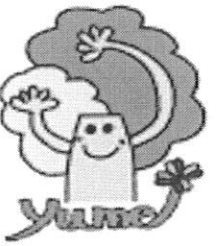
- ・感性豊かな子ども
- ・発見できる子ども
- ・認め合える子ども

保育理念

子どもの力を信じ
優しい心と豊かな感性を育てる

社会福祉法人 夢の成る木
ひなた保育園

2020.10.21



つくしぐみ

最近のつくし組さんは、お友だちの存在に気づき、顔を見合わせたり、子ども同士のコミュニケーションをとる様子が見られるようになりました。その姿はこども微笑ましいです！また、絵本や手遊びに興味を示す子どもが増え、模倣遊びを楽しんでいます。特に、子どもたちに人気の絵本は、「だるまさんシリーズ」です。体を揺らす姿は、とっても可愛いので、ぜひお家でやってみてくださいね。

せりぐみ

園外保育に出る機会を重々、徐々に体力がついてきているせりぐみさん。虫やどんぐりなど、秋ならではのものを採るのに夢中です。最近はお友だちとの関わりが増え、同じ遊びをする楽しさを感じているようです。やり取りの中でトラブルはありますが、お友だちと楽しく過ごせるよう子どもたちと一糸を遊ばせようと思っております。

のいちごぐみ

お友達と手をつないで歩くのが上手にふってきたのいちご組さん。「どこに行く？何する？」と園外を楽しくしています。秋の風を感じながら、どんぐりや落ち葉拾い、そして草むらに隠れているバッタやトンボを見つけ追いかけています。誰かが捕まえると見せてと集まってきて何にも可愛らしい姿を見せてくれます。川沿い走りを楽しんでいます！寒くなってきましたが、健康に気をつけて発見を楽しんで過ごしていきたいと思っております。

- ・一人ひとりの生活リズム、個性、発達に応じた信頼関係を築く
- ・聞く、見る、触るなどの経験を通して感覚遊びを楽しむ

- ・保育者との人間関係のもと、自分でしようとする気持ちが芽生える
- ・いろいろなものに興味を持ち、気付いたり感じたりする

- ・快適な環境のもと、基本的な習慣を徐々に自分でしようとする
- ・経験の中で感じた事や、思い浮かべた事を感じたままに表現して楽しむ

みつば組

涼しくなり過ごしやすい季節になりました。園外保育では、バッタ・コオロギなど秋の虫たちに興味津々のようです。虫が苦手な子どもも触れなかつた子どもたちが「捕まえた昆虫はどの虫なのか？」と調べる姿が最近よく見られます。4月の頃よりもずいぶん成長して色々な事ができるようになりました。沢山の自然物・生き物を見つけ、園外へ出かけたいと思います。

ふきのとうぐみ

この時期ならではの、どんぐり・木の実拾いに夢中です！同じどんぐり拾いでも北部公園の小川にころがり落ちたどんぐりを拾うのは、特別なようです。また、バッタやトンボを発見したり、図鑑を片手に戸外遊びを楽しんでいます。生活の中では、時計の読み方にも興味を示し、お片付けの時間を意識したり、雑巾を使ってお手伝いにも挑戦！ケニカの後は、「ごめんね」「いよ」と友だちの気持ちを理解し、自分の気持ちを伝える。成長が感じられるようになってきました。

たけのこぐみ

たけのこぐみの最近のゲームはドッジボールやバナーおにぎり、リレーなど本を重く遊ぶ遊びです！そして更に、先生vs子どもで勝負することも多く、毎日汗だくにはなっています。そして、いよいよ始まったお米の稲刈りと脱穀！！「お米の農家にはどうかやあ〜」「おにぎり80個（お食べられそう）やあ〜」とつぶやきながら日々クラスで元気に頑張っています！！

- ・自我が成長し、自分についての認識と同時に、家族、友だち等の関係が分かる
- ・感じた事や思った事を様々な形で自由に表現する

- ・友だちとの繋がりが深まり、集団で活動することを楽しむ
- ・友だちとイメージを共有しながら、想像したことをいろいろな方法で表現する

- ・人の立場を理解して行動し、自主と協調の姿勢や、態度が身に付く
- ・友だちとイメージを広げながら、いろいろな表現を楽しみ達成感を味わう